

主な内容	
会長挨拶	令和二年度活動方針
大会宣言	令和二年度組織表



歩みを止めることなく 今、すべきことに 真摯に取り組む

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 箕輪 恵美



許さない状況が続く中で会長職を引き継ぎ、職責の重さに身の引き締まる思いがいたします。現場に必要な情報の発信、各地の課題把握、課題解決に向けた活動を、本部役員一同、真摯に取り組んでまいる所存です。よろしくお願いいたします。

歩みを止めることなく、

今、すべきことを

感染症の猛威は、社会や経済、教育の動きを止めましたが、各園では、何かできることを、と知恵を絞り、日頃とは違う形で教育をし続けてこられたと思います。想定を越えた状況が起きたときに道を切り拓くためには、日頃から学び続け、地力を付けておくことが必要です。

三つの提言を基に学び合える場であった埼玉大会は、中止決定後、全会員に大会冊子をお届けできるようご尽力いただきました。埼玉大会実行委員長久保島康正様をはじめ埼玉大会実行委員の皆様により感謝申し上げます。

総会・研究大会と並ぶ勉強の機会であった第六十七回全国国公立幼稚園・

こども園教育研究協議会和歌山大会も、残念ながら開催が見送られました。しかし、大会に向けてご用意いただいた三つの研究発表、六つの各分科会の資料は、国公幼のホームページに掲載することで会員及び幼児教育関係者の研修にお役立ていただきました。和歌山大会実行委員長松本幸子様をはじめ和歌山大会実行委員の皆様は厚く感謝申し上げます。

今年の夏は、集い、学び合うことはできませんが、埼玉大会、和歌山大会の資料を各地、各園で研修の資料として活用し、その成果を日々の教育活動に反映させていきましょう。

直面する課題の解決を

感染症対策に直面することで、園長の危機管理能力が改めて問われているのではないのでしょうか。起きそうなことを予測して備えておくこと。緊張感を前面に出すのではなく、努めて悠然と構えること。事が起きたときには、迅速な情報収集と的確な判断に基づいた分かりやすく実行可能な方針の提示を実行すること。園長が頼りになる存在であれば、ピンチを打開できます。この機会に、危機管理能力に磨きを掛けましょう。

日常の教育活動が止まったことで、各園のWEB環境が整っていないこととの弊害が浮き彫りになりました。危機管理上も、教育の灯を常にともし続けるためにも、この機会に必要な整備が進むよう、国公幼として関係各部署に働き掛けていきます。